

令和元年度 府中市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和2年5月

府中市（東京都）

○計画期間:平成28年7月～令和4年3月(5年9月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点(令和2年3月31日時点)の中心市街地の概況

認定府中市中心市街地活性化基本計画は、4年目の事業年度を迎え、概ね計画通り各事業を展開している。

ハード事業のうち、新庁舎建設事業については、平成29年度末に実施設計がまとめられたことを受け、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めている。また、国史跡武蔵国府跡国司館地区保存活用事業については、第2期整備に着手するため、基本計画策定業務に係る公募型プロポーザル手続きを開始し、官民連携事業によるにぎわいの創出を目的とした施設整備の検討を進めている。

ソフト事業では、平成28年12月に設立した「一般社団法人まちづくり府中」の事業が進展している。各種事業(者)との連携による新たな価値や効果を生み出すエリアイベント事業として、世界3大スポーツ大会の1つに数えられているラグビーワールドカップ2019の開催に伴い、けやき並木通りで実施されたラグビーウィークなどにおいて、飲食ブースやステージイベント等を組み合わせた「府中ストリートバル」を実施したことにより、計9日間で約20万人が訪れるなど、にぎわいの創出を図ることができた。

さらに、恒例となりつつある「キテキテ府中マルシェ」や「府中まちなかフェスタ」の実施により、市内外の方々に府中に来ていただく機会を創出したほか、本法人がコーディネーター役となり、府中駅周辺の商業施設が連携して行う「キテキテ府中」及び「むさし府中まちゼミ」を実施し、回遊性創出事業においても、引き続き「東京競馬場タイアップ事業」を実施するなどして、広域から府中への来街を促す取組を実施した。また、市有地を活用した実証実験として、昨年10月にカフェ・レストラン「府中テラス」をオープンさせ、飲食業種による新たなにぎわいの創出に向け、検証している。一般社団法人まちづくり府中の取り組みについては、着実に市民にも認識されてきており、各事業の実施に係る協力者も増加傾向にある。

令和元年度、都市再生推進法人として当該法人を認定したことにより、今後、けやき並木通りの道路空間を活用した民間協働による新たな事業の実施に向け、準備を進めている。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(基準日：毎年度1月1日)

| (中心市街地 区域) | 平成 27 年度 (計画前年度) | 平成 28 年度 (1 年目) | 平成 29 年度 (2 年目) | 平成 30 年度 (3 年目) | 令和元年度 (4 年目) |
|---------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|
| 人口 | 15, 193人 | 15, 331人 | 15, 692人 | 16, 141人 | 16, 390人 |
| 人口増減数 | 294人 | 138人 | 361人 | 449人 | 249人 |
| 自然増減数 | 69人 | 76人 | 62人 | 55人 | 38人 |
| 社会増減数 | 225人 | 62人 | 299人 | 394人 | 211人 |
| 転入者数 | 1, 160人 | 1, 041人 | 1, 052人 | 1, 241人 | 1, 107人 |

2. 令和元年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催に伴い、けやき並木通りで実施されたラグビーウィークなどにおいて、飲食ブースやステージイベント等を組み合わせた「府中ストリートバル」を実施したことにより、9日間で20万人の方が来場された。けやき並木通りでの新たなにぎわいの形が出来たことは、今後の中心市街地の活性化につながることを期待される。

一方で、令和元年9月の伊勢丹府中店の閉店や、今般の新型コロナウイルス感染症の影響からも経済活力の低下が懸念されており、計画の目標指標として掲げている「大規模商業施設の年間販売額」の減少が見込まれる。

そのような状況ではあるが、伊勢丹後の新たな商業施設のオープンの準備もすすめられていることや、伊勢丹閉店後に実施した休日の歩行者交通量調査から、けやき並木通りにおける歩行者通行量は基準値を上回っていることから、来街者を回遊させる仕組みを取り入れる等、市や関係団体と協力しながらソフト事業を充実させることにより、計画の目標達成も可能であると考えられる。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 基準値からの改善状況 | 前回の見通し | 今回の見通し |
|----------------------|--------------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|------------|--------|--------|
| 経済活力の向上 (商業の活性化) | 大規模商業施設 年間販売額 (億円/年度) | 339 億円 (H26) | 370 億円 (R3) | 360 億円 (H30) | B | ① | ③ |
| | (参考指標) 空き店舗数 (店舗/年度) | 61 店舗 (H27) | — | 48 店舗 (R1) | — | — | — |
| 回遊性の創出 (地域資源の活用) | 東京競馬場タイアップ 年間利用組数 (組/年度) | 104 組 (H27) | 16,000 組 (R3) | 4,149 組 (R1) | B | ① | ① |
| | (参考指標) 休日の歩行者交通量 (人/日) | 19,378 人 (H27) | — | 28,330 人 (R1) | — | — | — |
| 市民交流の増進 (都市機能の増進) | 公共施設年間利用者数 (人/年) | 378,455 人 (H27) | 400,000 人 (R3) | 1,230,409 人 (R1) | A | ① | ① |

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値達成、C : 基準値未達成

< 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類 >

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

(1) 大規模商業施設年間販売額

前年度比で約 10 億円の増額となっており、目標値には達していないものの、昨年度に引き続き基準値を超える結果となっている。現状では、目標値に近づいているが、令和元年 9 月に伊勢丹府中店が閉店したことや新型コロナウイルス感染症による東京都の休業要請による影響により、今後の年間販売額の減少が見込まれる。

一方で伊勢丹府中店閉店後の新たな商業施設のオープンに向け準備が進められているところであり、また、新型コロナウイルス感染症の収束後、一般社団法人まちづくり府中が手掛ける従来の回遊性創出事業に加え、けやき並木通りの道路空間を活用した新たなにぎわい創出事業や「まちバル」を展開するなど、集客の増加に寄与するソフト事業の更なる充実を図ることにより、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

(2) 東京競馬場タイアップ利用組数

令和元年度は春の東京競馬開催期間に合わせて期間を設定し実施したが、利用組数は伸びたものの、まだ目標達成には至ってはいない。年間で春・秋の2回実施することで利用者がより増えるものと考えられる。

また、実施内容についても、実施の都度見直しを行いながら、より良いものとしていくことによって、目標達成は可能であると考ええる。

(3) 公共施設年間利用者数

平成29年7月にオープンした「府中市市民活動センター」及び「府中の森芸術劇場分館」は、共に駅前立地という環境を活かし、大幅な利用者増につながっている。年々利用者が増加していることから、目標達成は可能であると考ええる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

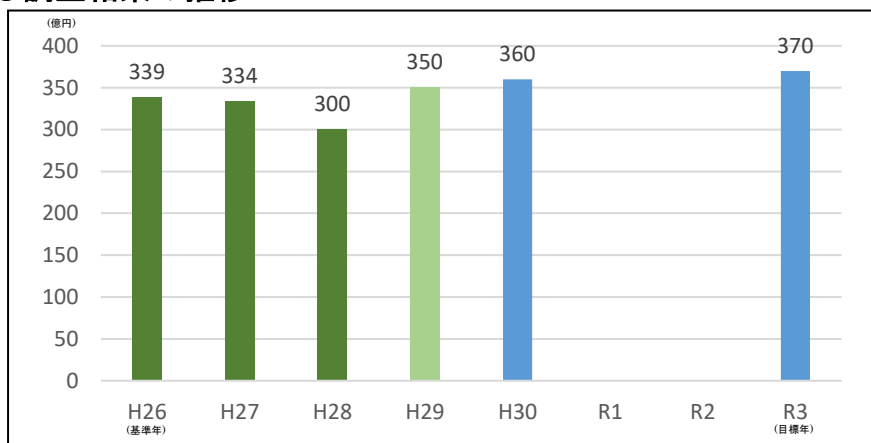
「大規模商業施設年間販売額」

目標達成見通しについては、平成30年度フォローアップにおいては伊勢丹府中店閉店後の新たな商業展開が想定されていたことにより目標達成可能と見込んでいたが、その後の跡地における新たな商業施設のオープンの遅れや、新型コロナウイルス感染症による東京都の休業要請による影響により、今後の年間販売額の減少が見込まれるため、③と評価した。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「大規模商業施設年間販売額」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 65 参照

●調査結果の推移



| 年度 | 億円 |
|-----|---------------|
| H26 | 339 (基準年値) |
| H27 | 334 |
| H28 | 300 |
| H29 | 350 |
| H30 | 360 |
| R1 | |
| R2 | |
| R3 | 370 (目標値) |

※調査方法： 事業者に対するヒアリング調査

※調査月： 令和2年3月

※調査主体： 府中市

※調査対象： 伊勢丹・フォーリス、くるる、ル・シーニュの年間販売額

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

| | |
|---------------|---|
| 事業実施期間 | 平成 29 年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 府中駅周辺大規模商業施設の合同セール「キテキテ府中」をコーディネートしたほか、個店向けには、平成 30 年度から「むさし府中まちゼミ」を開催し、商業の活性化に係る各種事業を展開した。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（専門人材活用支援事業）（経産省）（令和元年度） 地域・まちなか商業活性化支援事業（専門人材活用支援事業）（経産省）（平成 29 年度～平成 30 年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 |
| 事業効果及び進捗状況 | これまで個別に開催してきた大規模商業施設のセールについて、一般社団法人まちづくり府中がコーディネーター役として間に立つことで、大規模商業施設間を効果的に回遊していただくことができた。また、個店のファンづくりを目的としたコミュニケーション事業「むさし府中まちゼミ」の実施により、店主とお客様の信頼関係構築につながり、個店同士の横のつながりが生まれ、中心市街地における商業の活性化に寄与した。 |
| 事業の今後について | 令和元年9月の伊勢丹府中店閉店により府中駅周辺における商業施設の編成に変更が生じ、また新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済の低迷等、本市中心市街地の活性化に向けた目標に対する影響が懸念される。そのため、これまで以上に関係者との連携強化を図りながら、けやき並木通りの道路空間を活用した新たなにぎわい創出事業やまちなかの回遊性とにぎわいを創出する「まちバル」を展開するなど、集客の増加に寄与するソフト事業を実施し、目標の達成を目指す。 |

②. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業（府中駅南口第一地区市街地再開発組合）

| | |
|---------------|--|
| 事業実施期間 | 平成 15 年度～平成 29 年度【済】 |
| 事業概要 | 中心市街地における都市機能の増進を図ることを目的として、商業施設、市民交流施設、住宅等を整備することにより、まちなか居住及びにぎわいの創出並びに経済活力の向上に寄与するとともに、中心市街地の魅力を向上させる。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | ・防災・安全交付金（市街地再開発事業等）（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度） ・防災・安全交付金（道路事業（街路））（国交省）（平成 28 年度～平成 29 年度） |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成 29 年 7 月に本施設が開業を迎えたことにより、大規模商業施設の年間販売額は前年度比で約 50 億円の増加に転じたほか、休日のけやき並木通りの歩行者交通量も 1,000 人/日増加するなど、中 |

| | |
|-----------|---|
| | 心市街地への来訪者の増加やにぎわいの創出に好影響を与えた。 |
| 事業の今後について | 今後も、一般社団法人まちづくり府中など、関係団体と適宜協力を図りながら、エリアの価値向上に努めていく。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

前年度比で約10億円の増加となり、昨年度に引き続き基準値は超えたものの、目標値の達成には至っていない。

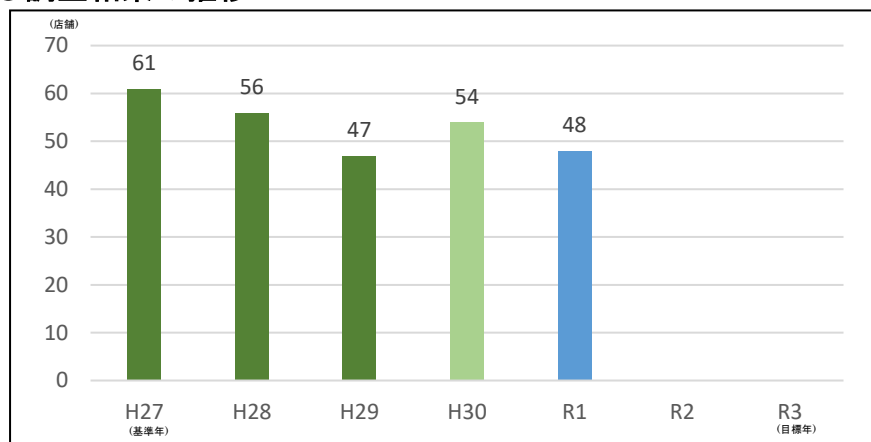
また、令和元年9月に閉店した伊勢丹府中店の影響や新型コロナウイルス感染症による東京都の休業要請による影響により、今後の年間販売額の減少が見込まれる。

一方で、中心市街地のエリアマネジメントを担う一般社団法人まちづくりの取組は、大型商業施設間の連携や情報の共有など一定の効果が生まれていることから、今後の伊勢丹府中店の跡地にオープンする新たな商業施設との連携が図られ、関係団体とともに中心市街地の活性化につながる取り組みについて検討する必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症の収束後には、府中駅周辺のにぎわいと活力が戻るよう集客の増加に寄与するソフト事業の更なる充実を図ることが求められることから、けやき並木通りの道路空間を活用した民間協働による新たな事業の実施に向け準備を進めていく。

「空き店舗数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 65 参照

●調査結果の推移



| 年度 | 店舗 |
|-----|--------------|
| H27 | 61 (基準年値) |
| H28 | 56 |
| H29 | 47 |
| H30 | 54 |
| R1 | 48 |
| R2 | — |
| R3 | — (目標値) |

※調査方法：委託事業者による現地調査

※調査月：令和2年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：中心市街地内に存在する空き店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 創業支援事業（むさし府中商工会議所、一般社団法人まちづくり府中）

| | |
|--------|--|
| 事業実施期間 | 平成29年度～【実施中】 |
| 事業概要 | むさし府中商工会議所が実施している創業希望者に向けたセミナーに加え、一般社団法人まちづくり府中が創業希望者と店舗オーナー |

| | |
|---------------|---|
| | 一のマッチングを行う。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 国の支援措置無し 【認定基本計画：地域・まちなか商業活性化支援事業（中心市街地最高戦略事業）のうち先導的・実証的の事業（経産省）（平成29年度～令和3年度）】 |
| 事業効果及び進捗状況 | むさし府中商工会議所が開催する「創業塾」を受講された方に、令和元年11月のキテキテ府中マルシェの際に創業塾コーナーを設置し、出店体験の場を提供した。 |
| 事業の今後について | むさし府中商工会議所の「創業塾」については、引き続き実施をしていく。 中心市街地活性化基本計画の認定後からこれまで、空き店舗数は減少傾向にあることから、創業希望者と店舗オーナーのマッチングについては、今後の動向を注視しながら、必要に応じて実施する。 |

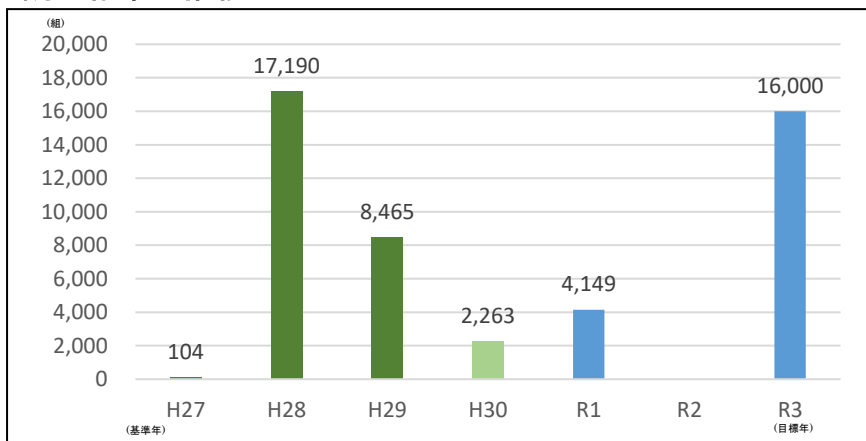
●目標達成の見通し及び今後の対策

空き店舗数については、中心市街地活性化基本計画の認定後、概ね減少傾向にあるものの、いまだ多くの空き店舗が残っている状況にある。

中心市街地の経済活力向上のためには、空き店舗の存在は課題であることから、むさし府中商工会議所等と引き続き連携し、空き店舗とのマッチングの推進に努める。

「東京競馬場タイアップ利用組数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 68 参照

●調査結果の推移



| 年度 | 組 |
|-----|-----------------|
| H27 | 104 (基準年値) |
| H28 | 17,190 |
| H29 | 8,465 |
| H30 | 2,263 |
| R1 | 4,149 |
| R2 | |
| R3 | 16,000 (目標値) |

※調査方法：委託事業者からの報告

※調査月：令和2年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：「府中クーポン&スタンプラリー2019」参加者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

| | |
|--------|---|
| 事業実施期間 | 平成29年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 市の委託事業により、市内飲食店をお得に利用しながら、スタンプを集めてプレゼントに応募できる「府中クーポン&スタンプラリー」 |

| | |
|---------------|---|
| | ー)(デジタル方式)及びスマートフォンをお持ちでない方でも参加可能な「わくわく!運試しキャンペーン」を実施した。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(専門人材活用支援事業)(経産省)(令和元年度) 地域・まちなか商業活性化支援事業(専門人材活用支援事業)(経産省)(平成29年度～平成30年度) 地方創生加速化交付金(内閣府)(平成28年度) 地方創生推進交付金(内閣府)(平成29年度～平成30年度) 【認定基本計画:国の支援措置なし】 ※地方創生加速化交付金(内閣府)(平成28年度)については、「東京競馬場タイアップ事業」に位置付け。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成30年度に引き続き、デジタル方式とスマートフォンやタブレットをお持ちでない方も参加することができるアナログ方式も併用した。 平成30年度は秋競馬の時期に実施したが、より多くの方が訪れる春競馬の時期に実施期間を変更し、結果として、参加組数は前年度に比べ増加した。 |
| 事業の今後について | 令和元年度は春競馬開催時期の年1回のみでの事業実施であったが、これまでよりも多くの方が参加できるよう、事業実施や回数等の見直しも含め、検討を行う必要がある。 |

②. 国史跡武蔵国府跡(国司館地区)保存活用事業(府中市)

| | |
|---------------|---|
| 事業実施期間 | 平成23年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国交省)(平成28年度～平成31年度) |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成30年11月に第1期工事の仕上げとして、10分の1スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景をVRで再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。 また、第2期整備として展示機能を中心としたガイダンスやJR府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るため、基本計画策定の事業者選定を行った。 |
| 事業の今後について | 令和2年度においては、展示機能を中心としたガイダンスやJR府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るための基本計画策定に向けた現地の事前調査を行う。 |

③. 新庁舎建設事業(府中市)

| | |
|---------------|--|
| 事業実施期間 | 平成21年度～平成33年度【実施中】 |
| 事業概要 | 現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成28年度～平成29年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 |
| 事業効果及び進捗状況 | 令和元年度では、昨年度に引き続き西庁舎周辺の埋蔵文化財発掘調査を行った。また、「新庁舎建設に伴う移転に係る基本方針」に基づき、一部執務室の先行移転を行った。 |
| 事業の今後について | 令和3年度からの1期（おもや）工事に向け施工区域内の埋蔵文化財調査を実施していく。 |

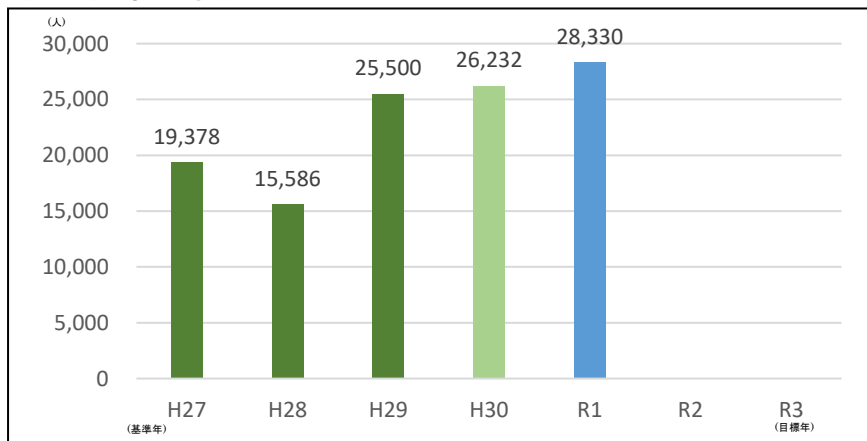
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成30年度と同様の方式で行い、実施時期を秋競馬開催時期から、より来場者の多い春競馬開催時期に実施することにより、利用者の増に至ったが、目標達成には至らなかった。

しかし、これまでの実施結果をもとに、実施回数の増や本キャンペーンの実施期間、PR方法などの再検討を行うことで、目標の達成は可能であると考えている。

「休日の歩行者交通量」※目標設定の考え方認定基本計画P.66～P.68参照

●調査結果の推移



| 年度 | 人 |
|-----|------------------|
| H27 | 19,378 (基準年値) |
| H28 | 15,586 |
| H29 | 25,500 |
| H30 | 26,232 |
| R1 | 28,330 |
| R2 | |
| R3 | — (目標値) |

※調査方法：委託事業者からの報告

※調査月：令和元年12月

※調査主体：府中市

※調査対象：休日のけやき並木歩行者（7時～19時）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

| | |
|--------|--------------|
| 事業実施期間 | 平成29年度～【実施中】 |
|--------|--------------|

| | |
|---------------|---|
| 事業概要 | 市の委託事業により、「府中クーポン&スタンプラリー2019」のほか、「キテキテ府中マルシェ」「おもてなしライトアップ」などを実施し、来街者の増加を図り、中心市街地内を回遊していただく、仕掛けづくりを行った。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（専門人材活用支援事業）（経産省）（令和元年度） 地域・まちなか商業活性化支援事業（専門人材活用支援事業）（経産省）（平成29年度～平成30年度） 地方創生加速化交付金（内閣府）（平成28年度） 地方創生推進交付金（内閣府）（平成29年度～平成30年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 ※地方創生加速化交付金（内閣府）（平成28年度）については、「東京競馬場タイアップ事業」に位置付け。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 令和元年度では、東京競馬場タイアップ事業を日本ダービーなど春競馬開催時期あわせて実施することで利用組数を増やすことが出来たが、目標の達成には至っていないため、引き続き工夫した取り組みを検討する必要がある。一方で、「休日の歩行者交通量」は増加しており、継続した中心市街地の回遊性事業を展開した効課が影響しているものと思われる。 |
| 事業の今後について | 各事業とも一定程度の効果を創出しているが、テーマ性や規模、時期など多角的な視点から検証を実施し、より効果的な事業の実施に向けた検討を行う。 |

②. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

| | |
|---------------|---|
| 事業実施期間 | 平成23年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成28年度～平成31年度） |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成30年11月に第1期工事の仕上げとして、10分の1スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景をVRで再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。 また、第2期整備として展示機能を中心としたガイダンスやJR府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るため、基本計画策定の事業者選定を行った。 |
| 事業の今後について | 令和2年度においては、展示機能を中心としたガイダンスやJR府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るための基本計画策定に向けた現地の事前調査を行う。 |

③. 新庁舎建設事業（府中市）

| | |
|---------------|--|
| 事業実施期間 | 平成21年度～平成33年度【実施中】 |
| 事業概要 | 現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成28年度～平成29年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 |
| 事業効果及び進捗状況 | 令和元年度では、昨年度に引き続き西庁舎周辺の埋蔵文化財発掘調査を行った。また、「新庁舎建設に伴う移転に係る基本方針」に基づき、一部執務室の先行移転を行った。 |
| 事業の今後について | 令和3年度からの1期（おもや）工事に向け施工区域内の埋蔵文化財調査を実施していく。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

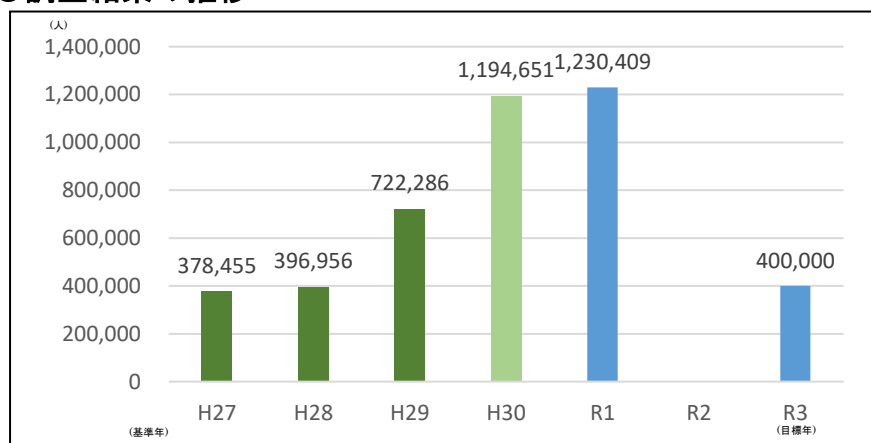
昨年度同様、ハード事業の進捗に遅れが生じているが、伊勢丹府中店閉店後の状況下においても、休日の歩行者交通量については、一貫して増加傾向にある。

一方で、東京競馬場タイアップ利用組数の目標達成に向けては、実施方法の見直しを行ったところ改善がみられるが、更なる工夫が必要である。

中心市街地へ足を運ぶ方が更に増えるよう回遊性の向上に努めていくとともに、関係団体との連携を通じて、にぎわいの創出につなげていきたい。

「公共施設の年間利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 69～P. 70 参照

●調査結果の推移



| 年度 | 人 |
|-----|-------------------|
| H27 | 378,455 (基準年値) |
| H28 | 396,956 |
| H29 | 722,286 |
| H30 | 1,194,651 |
| R1 | 1,230,409 |
| R2 | |
| R3 | 400,000 (目標値) |

※調査方法：担当課へのヒアリング

※調査月：令和2年3月

※調査主体：府中市

※調査対象：市立ふるさと府中歴史館、府中市市民活動センター、府中の森芸術劇場分館の利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業【市民活動拠点施設及び音楽練習施設整備事業】（府中市）

| | |
|---------------|--|
| 事業実施期間 | 平成28年度～平成29年度【済】 [認定基本計画：平成28年度～] |
| 事業概要 | 府中駅南口第一地区市街地再開発組合により整備された再開発ビルの地上5・6階の市民活動センター及び地下2階の府中の森芸術劇場分館（音楽練習室）を購入した。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成29年度） [認定基本計画：平成28年度～] |
| 事業効果及び進捗状況 | 府中駅直結という利便性の高さを生かし、市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館の利用者が年々増加し、市民活動や市民交流の活性化及び市民文化活動の振興に寄与した。 |
| 事業の今後について | 年々利用者が増加しており、幅広いお客様にご利用いただけている。 今後も、各種イベント事業などで本施設のPRを継続し、利用者数の増加に努め、 |

②. 新庁舎建設事業（府中市）

| | |
|---------------|--|
| 事業実施期間 | 平成21年度～平成33年度【実施中】 |
| 事業概要 | 現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国交省）（平成28年度～平成29年度） 【認定基本計画：国の支援措置なし】 |
| 事業効果及び進捗状況 | 令和元年度では、昨年度に引き続き西庁舎周辺の埋蔵文化財発掘調査を行った。また、「新庁舎建設に伴う移転に係る基本方針」に基づき、一部執務室の先行移転を行った。 |
| 事業の今後について | 令和3年度からの1期（おもや）工事に向け施工区域内の埋蔵文化財調査を実施していく。 |

③. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

| | |
|--------|--|
| 事業実施期間 | 平成23年度～【実施中】 |
| 事業概要 | 国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、にぎわいと魅力ある空間を創出する。 |

| | |
|-------------------|--|
| 国の支援措置名 及び支援期間 | 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国交省）（平成 28 年度～平成 31 年度） |
| 事業効果及び進 捗状況 | 平成 30 年 11 月に第 1 期工事の仕上げとして、10 分の 1 スケールの国司館復元模型と、国司や家康御殿の当時の風景を VR で再現した武蔵国府スコープが完成し、「国司館と家康御殿史跡広場」としてグランドオープンを迎えた。 また、第 2 期整備として展示機能を中心としたガイダンスや JR 府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るため、基本計画策定の事業者選定を行った。 |
| 事業の今後につ いて | 令和 2 年度においては、展示機能を中心としたガイダンスや JR 府中本町駅前のにぎわい創出する施設の整備を図るための基本計画策定に向けた現地の事前調査を行う。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策

駅前立地という環境を活かし、市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館の利用者が安定的に増加している。平成 31 年の利用者数も昨年引き続き目標値を超えることができた。

多くの市民の方などから利用されていることから、目標達成は可能であると考えている。

今後も、より一層のにぎわいが生まれるように本施設の PR につながる取り組みを継続して推進していく。